

A. 主な動き

1. 内政

▼世論調査

〔CBS-AXA〕

- ・次の日曜日に議会選挙が実施された場合の政党支持率
共産党:24.6%、自由民主党:22.0%、民主党:11.2%、
自由党:9.1%、どの党にも投票しない:8.3%、態度保留:
20.9%等
- ・調査は10月30日から11月12日にかけて1,237名の成人
を対象に実施。

▼その他

- ・19日、ティモフティ大統領は、大統領の選出方法に関し、国
民による直接選挙ではなく議会における選出が現状では適
当であるとする旨発言。
- ・22日、共産党議員は、15日にプラホドニウク議会第一副議
長(民主党)の罷免決議案が否決されたことに抗議の意を示
し、本会議場から退席。

2. 経済

▼IMF

- ・21日、フィイト首相はIMFとの3年間のプログラムを更に3
ヶ月延長した、この決定はモルドバが具体的な結果を必要
としているので妥当である、IMFの新たな評価ミッションが2
013年2月早々にも再びモルドバを訪問するだろう旨発言。
この新たなミッションに関し、同首相は、モルドバはそれま
でに一連の義務を果たす必要があり、IMFとの協力のため
に十分な準備を行う旨発言。
- ・21日、ゲオルギエフIMF欧州局局長は、モルドバでの協
力プログラムの第6回レビューを完了し、その結果は満足の
いくものであった旨表明。モルドバ政府による協力プログラ
ムの具体的な実施は評価に値するものであり、特に、国家
予算赤字が減少したことに満足の意を表明(2012年 GDP
の1.9%、2013年GDPの1.35%と予測)。更に同局長は、
2012年のGDP成長率見通しにも言及し、2012年の夏の
干ばつと貿易相手国の景気減速のために、2012年は0.
3%と鈍化するであろうが、国内の農業部門の回復とともに2
013年のGDP成長率を4%と予測している旨言及。

3. 外交

▼ルプ議会議長のロシア訪問

- ・21、22両日、ルプ議会議長は、サンクト・ペテルブルクに
おけるCIS諸国議会間会議に出席。
- ・22日、ルプ議長は、マトヴィエンコ露連邦院議長と会談し、
両国議会間協力委員会活動の再開等に関し協議。
- ・23日、ルプ議長は、アサドフ・アゼルバイジャン議会議長

と会談し、両国議会間関係の強化・拡大に関し協議。双方は、
2013年に両国議長による相互訪問を実施することで合意。

▼その他

- ・19日、EUは、外務理事会を開催し、欧州委員会の報告を
踏まえ、モルドバがEUとの査証免除化行動計画の第一段階
の基準を満たしたことを認め、第二段階の基準の評価を開始
する旨決定。
- ・20日、フィイト首相は、トゥスク・ポーランド首相と電話会談
し、両国協力関係、モルドバの欧州統合及び12月3日に予
定されているコモロフスキ・ポーランド大統領のモルドバ訪
問の準備状況等に関し協議。
- ・22日、ラザル副首相兼経済相は、天然ガス供給源を多様
化させガスブロムへの依存度を低下させるため、オデッサ
におけるLNGターミナル建設へのモルドバの参加の可能
性に関しウクライナと協議を重ねている旨発言。

4. 沿ドニエストル

▼ロゴジン露副首相のモルドバ・沿ドニエストル訪問

- ・16、17両日、ロゴジン露副首相兼沿ドニエストル担当露大
統領特使は、沿ドニエストルを訪問し、地域内の工場及び発
電所等を視察の後、シェフチューク「大統領」と会談。双方は、
地域の安全保障のための露・沿ドニエストル協力の展望及び
露領事館のティラスポリへの開設問題に関し協議し、ロシア
平和維持部隊の現状維持を確認。
- ・17日、ロゴジン露副首相は、沿ドニエストル訪問後、キシナ
ウにおいてフィイト首相と会談し、同副首相の沿ドニエストル
訪問における協議内容を伝達。
- ・17日、ロゴジン副首相は、沿ドニエストルのロシア産ガスの
債務はモルドバが負担するべきであるとする考えを表明。ま
た、現在協議中の平和維持部隊の車両及び設備の近代化計
画に関し、ロシア軍は対象ではないとするフィイト首相の発言
に対し、同副首相は、平和維持プロセスの一部であるロシア
軍機動部隊の装備も含まれる旨発言。
- ・18日、ラザル副首相兼経済相は、モルドバはロシア産天然
ガスに関する債務はないとし、ガスの代金は消費者が支払う
べきである旨発言、また、モルドバはロゴジン露副首相が求
めているEUの第3次エネルギー・パッケージ参加を見送る
意向はない旨改めて表明。

▼ティラスポリへの露領事館開設問題関連発言

- ・16日、ティモフティ大統領は、ロシア軍が撤退するまで沿
ドニエストル地域への領事館開設は認めない旨発言。
- ・16日、ロゴジン露副首相は、領事館の開設が認められな
い場合、領事業務を提供する大統領特使事務所を開設する

可能性がある旨言及。

- ・19日、ルプ議会議長は、ティラスポリへの露領事館開設反対を表明。
- ・20日、フィラト首相は、16日のティモフティ大統領の発言は理に適っているとし、同首相も同意見である旨発言。

▼その他

- ・20日、シェフチューク「大統領」は、ロシアが主導するユーラシア（共同体への）統合及び沿ドニエストルの独自の発展の原則によるキシナウとの紛争解決交渉が優先課題であるとする沿ドニエストル新外交政策の改定案を承認。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)